

表彰区分	マロニエ建築優良賞	
作品名	総合スポーツゾーン新スタジアム	
所在地	宇都宮市西川田 2 丁目 1572-1 他	
用途	観覧場	
建物概要	構造：RC造、一部S、SRC造	敷地面積：545,803.74 m ²
	階数：地上 4 階	延べ面積：42,037.52 m ²
建築主	栃木県宇都宮市塙田 1-1-20 栃木県	
設計者	東京都江東区潮見 2-1-22 久米・A I S・本澤特定建築設計業務共同企業体	
施工者	栃木県宇都宮市京町 11-12 鹿島・増淵・渡辺・那須土木・磯部・浜屋特定建設工事共同企業体	

講評

2022年国体に向けて整備が進む総合スポーツゾーンに建つ、陸上競技場とサッカー場を兼ねた新スタジアムである。第1種公認陸上競技場およびJ1施設基準に準拠した約2万5千席の規模をもち、全席が膜屋根で覆われている。建設残土を利用した緩やかな斜面の丘を上っていくと、建物外周のコンコースに直接接続し、公園と一体感のある計画となっている。見上げるとうねったような曲面を持つ観客席を支える下部構造が迫り出して来ており、さらに空に浮かぶように膜屋根の滑らかな曲線がわずかに見え、観客に高揚感を抱かせるダイナミックな演出がなされている。観客席における、陸上競技場とサッカー場の兼用施設での懸念材料であるサッカー観戦時の臨場感について、フィールドの計画や観客席・屋根の形状などにより、うまく高められていると感じられた。県を代表するスタジアムとして、構造計画や環境計画を含め、十分に練り上げられた高いクオリティをもち、今後県民に親しまれて、長い目でより魅力的な場所に育っていくことを期待したい。

